

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月26日

上場会社名 カゴメ株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 2811 URL <http://www.kagome.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜岡 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 長井 進

TEL 03-5623-8501

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	137,983	—	4,577	—	4,408	—	1,012	—
20年3月期第3四半期	158,897	9.7	10,946	13.3	9,863	12.0	5,523	13.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	10.16	—
20年3月期第3四半期	55.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第3四半期	144,289	—	86,445	—	58.7	850.24
20年3月期	135,348	—	90,378	—	65.3	887.26

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 84,656百万円 20年3月期 88,355百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	△10.2	4,800	△51.3	4,500	△46.2	1,600	△61.6	16.07

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、6～7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 99,616,944株 20年3月期 99,616,944株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 49,772株 20年3月期 34,749株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 99,576,876株 20年3月期第3四半期 99,585,377株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4～5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成20年4月1日～12月31日）は、世界的な金融不安による景気減退とそれに伴う節約意識の高まり等々、お客様の購買行動に大きな影響を与えるほどの明らかな経済・社会環境の大きな変化に加え、新商品の一時的な需要増効果が薄れたことなど独自の要因もあり、売上高は前年同期間を大きく下回りました。また乳酸菌事業において、赤字商品であった動物性乳酸菌を活用した一部既存商品の終売等により売上が減少いたしました。一方で、一年にわたり低迷しておりました野菜飲料の売上高は、直近で価格改定前の水準まで戻ってきており、第4四半期は一層の販売促進活動により前年水準までの回復を目指しております。

原材料コストの高騰に対して7月1日より野菜飲料等の出荷価格を改定いたしました。また、消費者の嗜好や健康飲料の多様化に対して、魅力ある提案ができていなかったとの思いから、積極的な需要拡大策として、性別や世代を問わず多くのお客様から支持され、信頼感のある吉永小百合さんを起用し、「野菜の色にはチカラがある。-phyto color（ファイト・カラー）」というキャッチコピーで広告宣伝を展開し、「野菜の日」キャンペーンなど店頭での販売促進策を実施いたしました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費などのコスト削減に努めてまいりましたが、売上の減少及び原材料コストの高騰等により、営業利益は前年同期比63億68百万円の減少となりました。

この結果、当第3四半期累計期間における連結売上高は、前年同期比13.2%減の1,379億83百万円、営業利益は前年同期比58.2%減の45億77百万円、経常利益は前年同期比55.3%減の44億8百万円、四半期純利益は前年同期比81.7%減の10億12百万円となりました。

なお、海外事業におきましては、全世界規模での原料・物流コストの上昇という事業環境の変化に対応し、北米における事業展開を再構築いたします。具体的には経営資源をより一層の成長が期待できるフードサービス事業に集中するため、野菜飲料事業のいったん休止を8月29日に発表いたしました。

また、那須工場において製造しておりましたカゴメデリの製造ラインを12月に除却したことを主な要因として、当第3四半期会計期間において7億17百万円の固定資産処分損が発生しております。

セグメント別の業績の概況は、次の通りであります。

<食品セグメント>

食品セグメントの売上高は、前年同期比13.1%減の1,366億32百万円となりました。食品セグメントにおける事業別の売上高の状況は、以下の通りです。

① 飲料事業

野菜飲料カテゴリーにつきましては、原材料の高騰による原価上昇から、7月よりメーカー出荷価格の値上げを行うと同時に、吉永小百合さんを起用し、「野菜の色にはチカラがある。-phyto color（ファイト・カラー）」をキャッチフレーズとした広告を展開、品揃えの幅広さを魅力とする「野菜生活」を中心に、野菜ジュースの提供価値の再発信とブランドイメージの強化を図りました。

消費者キャンペーンにつきましても、コミュニケーションと連動し、“ちびまる子ちゃん 5色のエコバックプレゼント”企画を展開、「野菜生活」の積極的な拡販を行いました。

また、需要を刺激するための新商品として、受験シーズンに向けた「合格祈願これ一本」を12月に、“いちごの日”の売場づくりに活かせる「野菜生活100 野菜とヨーグルト いちご」を1月に導入いたしました。

しかしながら、これまでの好調な売上伸長の反動や、物価上昇を背景とした消費者の生活防衛意識の高まりもあって、売上は伸び悩みました。

その結果、飲料事業の売上高は、前年同期比24.2%減の609億13百万円となりました。

② 乳酸菌事業

平成18年春から発売した「植物性乳酸菌ラブレ」は、乳酸菌飲料市場に新たな価値を提供することによって、この市場の活性化を図ってまいりました。また、5月には「植物性乳酸菌ラブレ ヨーグルトタイプ」をさらにおいしく機能感を訴求した商品へリニューアルし、7月より関東・甲信越地区、9月より東北地区で発売開始し、売上向上に貢献いたしました。さらに、健康長寿の時代にふさわしいブランド育成を目的に、病院・介護保険施設などを対象とした「植物性乳酸菌ラブレ62ml」を、12月より発売いたしました。しかしながら、お客様の節約志向の高まりに加え、魅力的な新商品提案ができなかったことから、売上は低迷いたしました。

また、引き続き、動物性乳酸菌を活用した一部既存商品を終売とすることで、商品ラインナップの再編を行うとともに、昨今の原材料高騰に対応し、生産効率の向上、原価低減を進めてまいりました。

その結果、乳酸菌事業の売上高は、前年同期比21.8%減の90億13百万円となりました。

③ 食品事業

調味料カテゴリーにおいて、トマトケチャップは、(株)ベネッセコーポレーションと共同で、「子供の健やかな成長の応援」をテーマにした「おやこのニコニコ食卓キャンペーン」を実施いたしました。当初の予想を上回る反響を頂き、トマトケチャップの情緒的価値の向上につなげることができました。また、内食回帰のトレンドもあり、レトルトパウチの「メニュー専用調味料」や「基本のトマトソース」、「パスタソース」が順調に推移いたしました。調味料カテゴリー全体では、ほぼ前年並みの201億円となりました。

調理食品カテゴリーは、高単価なセット米飯である「押し麦ごはん」により若年女性の需要喚起につながりましたが、商品数を絞り込んだことより、売上は前年同期を下回り10億円となりました。

その結果、食品事業の売上高は、前年同期比4.0%減の212億57百万円となりました。

④ ギフト事業

当第3四半期累計期間は、中元期が市場を上回って好調に推移いたしました。また、歳暮市場を中心に健康・こだわり贈答の需要を創造形成すべく、市場対応力を継続強化し、人気の「国産プレミアムジュースギフト」は好調だったものの、消費低迷の環境下において、ほぼ前年並みの成果にとどまりました。

その結果、ギフト事業の売上高は、前年同期比3.8%増の73億13百万円となりました。

⑤ 業務用事業

新調味料「和トマトシリーズ」・「ダイストマトソース」・介護食「冷凍やわらか野菜」などの新商品について、メニュー提案を中心とした活動を継続し、売上の拡大に努めました。

また、11月より冷凍地中海料理野菜の価格政策を変更し、その浸透に注力致しました。

そのほか、KAGOME INC. においても売上を伸ばしたことに加え、当期より連結子会社となりましたVegitalia. S.p.A. の売上也加わっております。

その結果、業務用事業の売上高は、前年同期比7.8%増の278億33百万円となりました。

⑥ 生鮮野菜事業

家庭用では「こくみ」ブランドの主力商品である「ラウンド、プラム、ミディ」の容量ラインナップの拡大、「ラウンド、ミディ」のバラエティとして香りさわやかな「房摘みタイプ」を展開するなど需要拡大を図ってまいりました。昨秋全国発売を開始いたしました中までしっかり赤い「高リコピントマト」、スナック感覚で味わえる「スナックトマト」は生鮮トマト売場を活性化し、順調な売上推移となりました。

店頭では野菜飲料やトマトソースなどの商品とともに「トマトフェア」を催し、需要促進を図りました。

また、業務用トマト「デリカ」の外食ユーザーへの提案を積極的に推進いたしました。

その結果、生鮮野菜事業の売上高は前年同期比1.9%増の50億円となりました。

⑦ 通販事業

10月に「植物性サプリメントシリーズ」として、「緑黄色野菜の素材力」・「発芽ブロッコリーの素材力」・「ウコンと黒ゴマの素材力」・「黒ニンニクと黒酢の素材力」・「梅とヒハツの素材力」の5アイテムを発売いたしました。また、12月には北海道産の素材だけで作った野菜ジュース「北海道野菜100%」、3種の葡萄のストレート果汁を使用した「特別葡萄」を導入いたしました。いずれも、既存のお客様へのご案内から販売活動をスタートとさせており、本格的な拡大は翌年度を予定しております。

その結果、通販事業の売上高は、前年同期比0.6%増の50億66百万円となりました。

⑧ その他

原材料売却等による売上高は、前期同期比34.0%減の2億33百万円となりました。

<その他のセグメント>

運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業等を合わせたその他のセグメントの売上高は、前年同期比11.3%減の93億32百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末は、総資産が前期末に比べ89億41百万円増加いたしました。

主な資産の変動は、「原材料及び貯蔵品」が32億19百万円、リース取引に関する会計基準の適用に伴い「リース資産」が31億87百万円それぞれ増加したことに加え、新規連結子会社Vegitalia S.p.A.の固定資産が29億19百万円増加したことによります。

主な負債の変動は、リース取引に関する会計基準の適用に伴い「リース債務」が31億86百万円増加したことに加え、新規連結子会社Vegitalia S.p.A.の増加に伴い「借入金」が80億27百万円増加したことによります。

主な純資産の変動は、剰余金の配当14億93百万円と、四半期純利益10億12百万円により「利益剰余金」が4億81百万円減少したことと、「繰延ヘッジ損益」が18億円、「その他有価証券評価差額金」が8億92百万円それぞれ減少したことによります。

この結果、自己資本比率は58.7%、1株当たり純資産は850円24銭となりました。

なお、主な保証債務には、(有)いわき小名浜菜園の銀行借入に対する保証10億50百万円、世羅菜園㈱の銀行借入に対する保証6億60百万円がございます。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第3四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物は、149億1百万円となり、前期末比で18億41百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、41億95百万円の純収入となりました。この主要因は、税金等調整前四半期純利益が34億14百万円となったこと、減価償却費が52億38百万円となったこと、たな卸資産が28億99百万円増加したこと（キャッシュの純支出）及び法人税等の支払額15億76百万円によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、33億11百万円の純支出となりました。この主要因は、固定資産の取得により33億92百万円を支出したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10億27百万円の純収入となりました。この主要因は、借入金の純増加による35億14百万円の収入と、配当金支払額14億76百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出7億4百万円によります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期より、一層の利益獲得を目指すべく売上原価や販売固定費、一般管理費のコスト削減を行っており、その効果が業績に現れてきております。第4四半期以降は、次年度に向けて新製品の投入など継続的に需要拡大策を実施いたします。

① 飲料事業

野菜飲料カテゴリーにつきましては、低迷している需要の回復を図ることを最大の目的としたキャンペーンを展開してまいります。

一時的に減退しているとはいえ、ここ数年で大きく拡大した野菜飲料市場は、ユーザーや飲用シーンの拡大によって新しい需要を生み出しました。朝食シーンが飲用場面の中心であることには変わりありませんが、リラックスタイムやリフレッシュしたい場面などでの飲用が増加、お茶や低果汁飲料といった清涼飲料と同じような位置づけで飲まれるユーザーが増え続けております。そうしたユーザーの変化に対応する新商品の導入や、広告による需要刺激を中心に、店頭活性化と野菜ジュースの新しい世界観を体験していただくためのサンプリング活動を組み合わせた大型キャンペーンを実施いたします。野菜生活ブランドからは、新製法によりこれまでにないすっきりとした飲み口を実現した「野菜生活100 Refresh!」や、リラックスタイムを香りで演出する「Herb in 野菜生活100」を導入し、飲用場面の拡張をより促進させてまいります。

また、野菜を疾病予防や健康維持のためだけではなく、その味覚を積極的に楽しんだり、野菜本来の甘さを活かしたスイーツが流行したり、生活者の野菜に対する感性が広がりをみせています。そうしたトレンドを捉えると同時に、野菜ジュースの本当のおいしさを追求した新しいブランドを3月に導入いたします。カゴメにしか実現できない、本当においしい原料を大切に搾った、野菜だけで作ったまったく新しいジュースです。この新ブランドを「野菜生活」に次ぐ大きなブランドに育成すべく、導入期において集中的なプロモーションを展開いたします。

市場は厳しい環境ですが、上記のような需要を刺激する積極策により、売上の回復に取り組んでまいります。

② 乳酸菌事業

引き続き「植物性乳酸菌ラブレ菌」の機能価値（便通改善・免疫力の向上）を、広くお伝えする価値伝達活動を積極的に展開しつつ、ラブレ・ユーザーの拡大に向けて3月より新商品を発売いたします。加えて、女性の美容期待にお応えした新商品「ビフィズス&コラーゲン（すっきりタイプ）100ml×4」を、2月より発売いたしま

す。

これらにより売上の回復を図るとともに、製造原価の低減、販売促進費の効率化等を進め、利益改善に取り組んでまいります。

③ 食品事業

好調な「基本のトマトソース」は、継続的な商品力の強化と情報発信を行い、更なる成長を狙ってまいります。主力のトマトケチャップでは、引き続きバリエーションの提案によるターゲットの拡大を狙い、カテゴリー活性化を狙います。

セット食品は、新商品の投入とプロモーションにより引き続き若年女性の需要喚起を図り、競争の激しい簡便食品の中で、存在感のあるポジションを狙ってまいります。

④ ギフト事業

「フルーツジュースギフト」・「フルーツ+野菜飲料ギフト」を中心に、人気の「国産プレミアムジュースギフト」・「野菜飲料ギフト」を加え、健康・こだわりの贈答需要を創造形成いたします。中元歳暮のみならず、新たな贈答機会への対応力を強化し、通年におけるギフトビジネスの継続成長を目指してまいります。

⑤ 業務用事業

オムライス・ナポリタンなどのメニュー情報発信を継続し、ケチャップの需要活性化を図るとともに、新商品の市場定着に引き続き努めてまいります。

合わせて、トマト素材・冷凍地中海料理野菜について、的確な価格政策を実施し収益力の向上を図ってまいります。

⑥ 生鮮野菜事業

家庭用では「高リコピントマト」・「スナックトマト」・「こくみキッズチェリー」など新しいトマトの価値伝達を展開し、これらの売上拡大を図るとともに、新たに「黒トマト(織部)」・「ジュースシートマト」など首都圏を中心にテスト販売し、新たな提案をしてまいります。

業務用では外食・中食市場への販売を強化するため、大手外食チェーンや惣菜業態へのトマトメニューの提案をしてまいります。

⑦ 通販事業

今年度は、「植物性乳酸菌ラブレ」のサプリメント2種類、植物性サプリメント5種類を発売しました。主力の野菜ジュース群、旬しぼりシリーズのフルーツジュース群に加え、このサプリメントカテゴリーを拡大することが今後の成長を実現する大きなカギと考えておりますので、今年度中に、サプリメント分野の販売ノウハウを確立することを目標に、さまざまな販売施策の試行に取り組んでまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ11百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③ たな卸資産の処分に係る損失の計上区分

従来、たな卸資産の処分に係る損失である返品廃棄関連費用、たな卸資産廃棄損については、それぞれ「販売費及び一般管理費」、「営業外費用」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更は、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、収益性の低下に基づく簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理する方法が適当であると判断したことによるものであります。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の売上総利益が569百万円減少し、営業利益が329百万円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

④ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる影響はありません。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

⑤リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は93百万円増加し、営業利益は131百万円増加し、経常利益は35百万円増加し、税金等調整前四半期純利益は62百万円減少しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(追加情報)

平成20年度の法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は239百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ259百万円増加しております。なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,392	5,863
受取手形及び売掛金	26,475	26,322
有価証券	7,538	7,338
商品及び製品	6,904	6,979
仕掛品	31	37
原材料及び貯蔵品	15,821	12,601
その他	12,531	10,234
貸倒引当金	△109	△92
流動資産合計	76,585	69,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,190	14,400
機械装置及び運搬具（純額）	15,642	17,283
工具、器具及び備品（純額）	780	853
土地	12,246	12,190
リース資産（純額）	3,161	—
建設仮勘定	459	152
有形固定資産合計	47,480	44,881
無形固定資産		
のれん	229	19
ソフトウェア	1,648	1,589
その他	445	422
無形固定資産合計	2,324	2,031
投資その他の資産		
投資有価証券	13,485	15,010
その他	4,571	4,303
貸倒引当金	△157	△163
投資その他の資産合計	17,899	19,150
固定資産合計	67,704	66,062
資産合計	144,289	135,348

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,523	14,170
短期借入金	9,079	2,487
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000
未払金	7,891	10,026
未払法人税等	1,492	162
賞与引当金	765	1,839
役員賞与引当金	—	73
その他	5,415	1,048
流動負債合計	41,168	31,807
固定負債		
長期借入金	6,434	5,000
退職給付引当金	2,675	2,520
その他	7,565	5,641
固定負債合計	16,675	13,162
負債合計	57,843	44,969
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,985	19,985
資本剰余金	23,733	23,733
利益剰余金	43,508	43,989
自己株式	△67	△42
株主資本合計	87,159	87,665
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	129	1,022
繰延ヘッジ損益	△1,809	△9
為替換算調整勘定	△823	△323
評価・換算差額等合計	△2,503	689
少数株主持分	1,789	2,022
純資産合計	86,445	90,378
負債純資産合計	144,289	135,348

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	137,983
売上原価	75,635
売上総利益	62,347
販売費及び一般管理費	57,770
営業利益	4,577
営業外収益	
受取利息	105
受取配当金	184
その他	391
営業外収益合計	682
営業外費用	
支払利息	450
持分法による投資損失	21
休止固定資産減価償却費	157
その他	221
営業外費用合計	850
経常利益	4,408
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1
固定資産売却益	2
投資有価証券売却益	61
特別利益合計	65
特別損失	
固定資産処分損	830
リース会計基準適用に伴う影響額	98
ゴルフ会員権評価損	4
訴訟関連損失	116
事業再編損	9
特別損失合計	1,060
税金等調整前四半期純利益	3,414
法人税、住民税及び事業税	2,706
法人税等調整額	△237
法人税等合計	2,468
少数株主損失(△)	△66
四半期純利益	1,012

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	39,803
売上原価	22,481
売上総利益	17,322
販売費及び一般管理費	15,586
営業利益	1,735
営業外収益	
受取利息	38
受取配当金	58
その他	49
営業外収益合計	146
営業外費用	
支払利息	146
持分法による投資損失	110
休止固定資産減価償却費	52
その他	137
営業外費用合計	446
経常利益	1,435
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1
投資有価証券売却益	0
特別利益合計	1
特別損失	
固定資産処分損	717
訴訟関連損失	116
事業再編損	9
特別損失合計	844
税金等調整前四半期純利益	593
法人税、住民税及び事業税	775
法人税等調整額	△23
法人税等合計	751
少数株主損失(△)	△69
四半期純損失(△)	△89

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,414
減価償却費	5,238
リース会計基準適用に伴う影響額	98
受取利息及び受取配当金	△290
支払利息	450
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,204
その他の引当金の増減額 (△は減少)	185
持分法による投資損益 (△は益)	21
固定資産処分損	830
売上債権の増減額 (△は増加)	38
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,899
未収入金の増減額 (△は増加)	1,070
仕入債務の増減額 (△は減少)	227
未払金の増減額 (△は減少)	△1,274
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△983
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	579
その他の増加額	146
その他の減少額	△306
小計	5,340
利息及び配当金の受取額	264
利息の支払額	△413
法人税等の支払額	△1,576
法人税等の還付額	580
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△8
有価証券の売却による収入	276
固定資産の取得による支出	△3,392
固定資産の除却による支出	△20
固定資産の売却による収入	17
貸付けによる支出	△457
貸付金の回収による収入	147
その他の増加額	157
その他の減少額	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,311

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入れによる収入	6,426
借入金の返済による支出	△2,911
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△704
少数株主からの株式取得による支出	△227
配当金の支払額	△1,476
少数株主への配当金の支払額	△54
自己株式の取得による支出	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,027
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,826
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	15
現金及び現金同等物の期首残高	13,059
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,901

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)				
	食品(百万円)	その他(百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	39,351	452	39,803	—	39,803
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	2,388	2,388	(2,388)	—
計	39,351	2,841	42,192	(2,388)	39,803
営業費用	37,809	2,647	40,456	(2,388)	38,068
営業利益	1,541	193	1,735	—	1,735

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)				
	食品(百万円)	その他(百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	136,629	1,354	137,983	—	137,983
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	7,977	7,981	(7,981)	—
計	136,632	9,332	145,965	(7,981)	137,983
営業費用	132,703	8,684	141,387	(7,981)	133,406
営業利益	3,928	648	4,577	—	4,577

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(1) 食品……………飲料、食品、業務用、生鮮野菜、通販等

(2) その他……………運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業等

3 すべての営業費用は各セグメントに配分されているため配賦不能営業費用はありません。

4 会計方針の変更

(たな卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】4 (3) ②に記載の通り、通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用は11百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

(たな卸資産の処分に係る損失の計上区分)

【定性的情報・財務諸表等】 4 (3) ③に記載の通り、従来、たな卸資産の処分に係る損失である返品廃棄関連費用、たな卸資産廃棄損については、それぞれ「販売費及び一般管理費」、「営業外費用」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更は、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、収益性の低下に基づく簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理する方法が適当であると判断したことによるものであります。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用は329百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

【定性的情報・財務諸表等】 4 (3) ④に記載の通り、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる影響はありません。

(リース取引に関する会計基準の適用)

【定性的情報・財務諸表等】 4 (3) ⑤に記載の通り、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用が125百万円、「その他」の営業費用が6百万円それぞれ減少し、営業利益がそれぞれ同額増加しております。

5 追加情報

【定性的情報・財務諸表等】 4 (追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「食品」の営業費用は239百万円減少し、営業利益が同額増加しております。

[所在地別セグメント情報]

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)				
	日本(百万円)	その他の地域 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	36,007	3,796	39,803	—	39,803
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	633	642	(642)	—
計	36,016	4,430	40,446	(642)	39,803
営業費用	33,842	4,867	38,710	(642)	38,068
営業利益又は営業損失(△)	2,173	(437)	1,735	—	1,735

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)				
	日本(百万円)	その他の地域 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	127,066	10,916	137,983	—	137,983
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	1,215	1,244	(1,244)	—
計	127,096	12,132	139,228	(1,244)	137,983
営業費用	121,315	13,335	134,651	(1,244)	133,406
営業利益又は営業損失(△)	5,780	(1,203)	4,577	—	4,577

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっておりますが、日本以外のいずれの国又は地域の売上高も全セグメントの売上高の合計額の10%未満であるため、その他の地域に一括して表示しております。

2 その他の地域の主なものは、米国、台湾、中国、イタリアであります。

3 全ての営業費用は各セグメントに配分されているため配賦不能営業費用はありません。

4 会計方針の変更

(たな卸資産の評価に関する会計基準)

【定性的情報・財務諸表等】4 (3) ②に記載の通り、通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による低価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用は11百万円増加し、営業利益が同額減少しております。

(たな卸資産の処分に係る損失の計上区分)

【定性的情報・財務諸表等】4 (3) ③に記載の通り、従来、たな卸資産の処分に係る損失である返品廃棄関連費用、たな卸資産廃棄損については、それぞれ「販売費及び一般管理費」、「営業外費用」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間から売上原価として処理する方法に変更いたしました。この変更は、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、収益性の低下に基づく簿価切下げによって発生する評価損とたな卸資産の処分に係る損失を期間損益計算において同等の損益区分で処理する方法が適当であると判断したことによるものであります。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用が314百万円、「その他」の営業費用が15百万円それぞれ増加し、営業利益がそれぞれ同額減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

【定性的情報・財務諸表等】 4 (3) ④に記載の通り、第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる影響はありません。

(リース取引に関する会計基準の適用)

【定性的情報・財務諸表等】 4 (3) ⑤に記載の通り、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用は131百万円減少し、営業利益が同額増加しております。

5 追加情報

【定性的情報・財務諸表等】 4 (追加情報)に記載の通り、平成20年度の法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から固定資産の耐用年数の見積りの変更を実施しました。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業費用は239百万円減少し、営業利益が同額増加しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 要約四半期連結損益計算書

前第3四半期連結会計期間（自平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結会計期間
	(平成20年3月期第3四半期)
	金 額
I 売 上 高	158,897
II 売 上 原 価	83,728
売 上 総 利 益	75,169
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	64,223
営 業 利 益	10,946
IV 営 業 外 収 益	620
受 取 利 息 及 び 配 当 金	312
雑 収 入	308
V 営 業 外 費 用	1,702
支 払 利 息	184
た な 卸 資 産 廃 棄 損	945
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	471
雑 支 出	100
経 常 利 益	9,863
VI 特 別 利 益	157
VII 特 別 損 失	196
税 金 等 調 整 前 益	9,824
法 人 税 等	4,408
少 数 株 主 損 失	△ 107
四 半 期 純 利 益	5,523

(12月31日に終了した3ヶ月間)

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)
	金 額
I 売 上 高	48,755
II 売 上 原 価	26,612
売 上 総 利 益	22,143
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	19,358
営 業 利 益	2,784
IV 営 業 外 収 益	222
受 取 利 息 及 び 配 当 金	122
雑 収 入	99
V 営 業 外 費 用	632
支 払 利 息	69
た な 卸 資 産 廃 棄 損	151
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	381
雑 支 出	29
経 常 利 益	2,374
VI 特 別 利 益	4
VII 特 別 損 失	25
税 金 等 期 調 整 前 益	2,353
法 人 税 等	1,313
少 数 株 主 損 失	△ 61
四 半 期 純 利 益	1,101

(2) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

（単位：百万円）

項 目	前第3四半期連結会計期間 (平成20年3月期 第3四半期)	
	金 額	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		9,824
減価償却費		4,880
受取利息及び配当金	△	312
支払利息		184
賞与引当金の増減額	△	1,353
その他引当金の増減額		196
持分法による投資損益		471
固定資産処分損		192
売上債権の増減額	△	3,523
たな卸資産の増減額	△	2,196
未収入金の増減額		1,280
仕入債務の増減額	△	4,101
未払金の増減額	△	2,262
その他流動資産の増加額	△	605
その他流動負債の増加額		677
その他の増加額		73
その他の減少額	△	264
小 計		3,162
利息及び配当金の受取額		326
利息の支払額	△	170
法人税等の支払額	△	4,079
営業活動によるキャッシュ・フロー	△	760
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△	4,373
有価証券の売却による収入		4
固定資産の取得による支出	△	6,589
固定資産の売却による収入		193
貸付による支出	△	1,148
貸付金の回収による収入		128
その他の増加額		23
その他の減少額	△	74
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	11,837
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入		986
借入金の返済による支出	△	1,240
少数株主からの払込みによる収入		40
配当金の支払額	△	1,481
少数株主への配当金の支払額	△	57
自己株式の取得及び売却による増減額	△	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	1,760
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△	42
V 現金及び現金同等物の増減額	△	14,400
VI 現金及び現金同等物の期首残高		29,981
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高		15,581

(3)セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	食品	その他	計	消去 又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	157,152	1,745	158,897	—	158,897
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7	8,773	8,781	(8,781)	—
計	157,159	10,518	167,678	(8,781)	158,897
営業費用	147,041	9,691	156,732	(8,781)	147,951
営業利益	10,118	827	10,946	—	10,946

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(1) 食品 …………… 飲料、食品、業務用、生鮮野菜、通販等

(2) その他 …………… 運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業等

3 全ての営業費用は各セグメントに配分されているため配賦不能営業費用はありません。

(2) 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(3) 海外売上高

前第3四半期連結会計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

6. その他の情報

(1) 主要な経営指標等の推移 【連結経営指標等】

決算年月	平成19年12月	平成20年12月	平成19年3月	平成20年3月	平成21年3月 予想
会計期間	自 平成19年 4月1日 至 平成19年 12月31日	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 12月31日	自 平成18年 4月1日 至 平成19年 3月31日	自 平成19年 4月1日 至 平成20年 3月31日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (百万円)	158,897	137,983	187,004	200,483	180,000
売上高伸び率 (%)	9.7	△13.2	12.3	7.2	△10.2
営業利益 (百万円)	10,091	4,577	8,668	8,786	4,800
売上高営業利益率 (%)	6.4	3.3	4.6	4.4	2.7
経常利益 (百万円)	9,863	4,408	8,296	8,366	4,500
売上高経常利益率 (%)	6.2	3.2	4.4	4.2	2.5
税金等調整前四半期 (当期) 純利益 (百万円)	9,824	3,414	7,673	7,964	2,800
売上高税金等調整前四半期 (当期) 純利益率 (%)	6.2	2.5	4.1	4.0	1.6
四半期 (当期) 純利益 (百万円)	5,523	1,012	4,086	4,167	1,600
売上高四半期 (当期) 純利益率 (%)	3.5	0.7	2.2	2.1	0.9
1株当たり四半期 (当期) 純利益 (円)	55.47	10.16	45.08	41.85	16.07
自己資本四半期 (当期) 純利益率 (%)	6.0	1.2	5.1	4.7	—
総資産経常利益率 (%)	6.6	3.1	5.9	5.9	—
総資産 (百万円)	150,207	144,289	153,219	138,682	—
純資産 (百万円)	94,562	86,445	92,399	90,378	—
自己資本比率 (%)	61.8	58.7	59.0	63.7	—
1株当たり純資産 (円)	931.79	850.24	908.07	887.26	—
四半期 (期末) 株価 (円)	1,620	1,519	1,875	1,778	—
株価収益率 (倍)	29.2	149.5	41.6	42.5	—
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△152	4,195	8,881	2,225	—
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△11,837	△3,311	△8,513	△14,999	—
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△2,367	1,027	14,103	△4,091	—
現金及び現金同等物の四半期 (期末) 残高 (百万円)	15,581	14,901	29,981	13,059	—
従業員数 (名)	2,014	2,086	2,002	1,904	—
[外、平均臨時雇用者数]	[1,122]	[1,262]	[644]	[1,134]	—
固定投資額 (百万円)	5,572	2,771	8,780	6,982	3,060
[うち有形固定資産]	[5,336]	[2,352]	[8,414]	[6,504]	[2,600]
減価償却費 (百万円)	5,487	5,238	6,325	7,471	7,010
[うち有形固定資産]	[4,497]	[4,835]	[5,832]	[6,943]	[6,530]
研究開発費 (百万円)	2,076	1,926	2,746	2,895	2,600
広告宣伝費 (百万円)	5,674	5,453	7,958	7,376	6,900
期中米ドル決済レート (注3) (円)	110.0	103.8	108.4	110.5	—

(注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。

2. 平成19年12月第3四半期、平成19年3月期及び平成20年3月期については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

3. 当社の決済レートを記載しております。

(2) 当社グループの状況及び業績

名称及び事業内容	資本金 及び 決算期	議決権 の 所有割合		前第3四半期 累計期間 (百万円)	当第3四半期 累計期間 (百万円)	増減率 (%)
当社						
カゴメ(株) 食品製造販売業 (注1)	19,985百万円 3月	—	売上高	146,149	124,014	△15.1%
			営業利益	9,603	5,608	△41.6%
			四半期純利益	6,071	3,000	△50.6%
			総資産	134,624	128,793	△4.3%
			純資産	91,425	86,645	△5.2%
連結子会社						
カゴメ不動産(株) 不動産業	98百万円 2月	100%	売上高	710	708	△0.3%
			営業利益	186	213	+14.2%
			四半期純利益	119	172	+43.8%
			総資産	3,421	3,180	△7.0%
			純資産	2,103	2,234	+6.3%
カゴメ物流サービス(株) 物流業・倉庫業・ 指定自動車整備業 (注1)	80百万円 2月	100%	売上高	9,671	8,488	△12.2%
			営業利益	458	274	△40.1%
			四半期純利益	268	179	△33.2%
			総資産	3,997	3,713	△7.1%
			純資産	2,045	2,177	+6.5%
KAGOME INC. 食品製造販売業	33百万 米ドル 12月	100%	売上高	8,160 [68,349千米ドル]	9,034 [85,366千米ドル]	+10.7% [+24.9%]
			営業利益	163 [1,369千米ドル]	△209 [△1,982千米ドル]	— [—]
			四半期純利益	65 [544千米ドル]	△110 [△1,042千米ドル]	— [—]
			総資産	7,790 [67,486千米ドル]	6,709 [64,785千米ドル]	△13.9% [△4.0%]
			純資産	2,353 [20,393千米ドル]	3,729 [36,011千米ドル]	+58.4% [+76.6%]
カゴメラビオ(株) 食品製造販売業 (注1)	98百万円 2月	100%	売上高	8,736	8,287	△5.1%
			営業利益	25	△414	—
			四半期純利益	△42	△583	—
			総資産	13,232	11,518	△12.9%
			純資産	863	123	△85.7%
台湾可果美股份有限公司 食品製造販売業	316百万 台湾ドル 12月	50.40%	売上高	1,940 [536百万台湾ドル]	1,864 [546百万台湾ドル]	△3.9% [+2.0%]
			営業利益	153 [42百万台湾ドル]	154 [45百万台湾ドル]	+0.6% [+6.7%]
			四半期純利益	151 [41百万台湾ドル]	125 [36百万台湾ドル]	△17.2% [△12.1%]
			総資産	2,845 [809百万台湾ドル]	2,642 [821百万台湾ドル]	△7.1% [+1.5%]
			純資産	2,430 [691百万台湾ドル]	2,198 [683百万台湾ドル]	△9.6% [△1.1%]
加太菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	90百万円 2月	70.00%	売上高	399	514	+28.9%
			営業利益	△51	19	—
			四半期純利益	△66	△6	—
			総資産	1,911	1,829	△4.3%
			純資産	△511	△523	—
可果美(杭州)食品 有限公司 食品製造販売業	17.1百万 米ドル 12月	61.00%	売上高	231 [14百万円]	329 [21百万円]	+42.1% [+46.0%]
			営業利益	△349 [△22百万円]	△249 [△16百万円]	— [—]
			四半期純利益	△352 [△22百万円]	△273 [△18百万円]	— [—]
			総資産	618 [40百万円]	857 [56百万円]	+38.6% [+40.2%]
			純資産	245 [15百万円]	750 [49百万円]	+206.1% [+209.5%]

名称及び事業内容	資本金及び決算期	議決権の所有割合		前第3四半期累計期間 (百万円)	当第3四半期累計期間 (百万円)	増減率 (%)
響灘菜園(株) 農産物の生産・販売 (注1)	50百万円 2月	66.00%	売上高	263	613	+133.2%
			営業利益	△ 216	△ 12	—
			四半期純利益	△ 273	△ 88	—
			総資産	2,401	2,263	△5.8%
			純資産	△ 531	△ 649	—
ケイ・エイチ デリカ(株) 惣菜店の経営	50百万円 2月	60.00%	売上高	—	38	—
			営業利益	△ 6	△ 25	—
			四半期純利益	△ 11	△ 24	—
			総資産	88	50	△42.9%
			純資産	88	45	△48.9%
Vegitalia S.p.A. 食品製造販売業 (注2)	6百万 ユーロ 12月	100%	売上高	407 [2,541千ユーロ]	905 [5,621千ユーロ]	+122.1% [+121.2%]
			営業利益	△ 566 [△3,530千ユーロ]	△ 849 [△5,274千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	△ 864 [△5,428千ユーロ]	△ 1,270 [△7,888千ユーロ]	— [—]
			総資産	7,374 [45,140千ユーロ]	6,320 [42,408千ユーロ]	△14.3% [△6.1%]
			純資産	289 [1,773千ユーロ]	△ 104 [△703千ユーロ]	— [—]

持分法適用会社（関連会社）

世羅菜園(株) 農産物の生産・販売	85百万円 2月	47.06%	売上高	594	715	+20.3%
			営業利益	23	130	+454.9%
			四半期純利益	25	130	+407.8%
			総資産	1,611	1,670	+3.6%
			純資産	△ 91	17	—
(有)いわき小名浜菜園 農産物の生産・販売	10百万円 2月	49.00%	売上高	597	867	+45.3%
			営業利益	△ 249	△ 141	—
			四半期純利益	△ 46	△ 191	—
			総資産	2,914	2,724	△6.5%
			純資産	△ 1,320	△ 1,572	—
Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A. 食品製造販売業	550千 ユーロ 12月	43.00%	売上高	— [—]	4,698 [29,185千ユーロ]	— [—]
			営業利益	— [—]	157 [979千ユーロ]	— [—]
			四半期純利益	— [—]	306 [1,901千ユーロ]	— [—]
			総資産	— [—]	11,076 [74,315千ユーロ]	— [—]
			純資産	— [—]	1,201 [8,060千ユーロ]	— [—]

(注) 1. 前第3四半期累計期間については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

2. 資本金及び議決権の所有割合については、平成20年12月末時点の表示としております。なお、当社は、平成21年1月16日に Vegitalia S.p.A. による13百万ユーロの増資を引き受けました。

(3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)		増 減 金 額	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)								
I	流動資産							
	現金及び預金	6,490		7,392		902	5,863	
	受取手形及び売掛金	32,313		26,475		△ 5,838	26,322	
	有価証券	9,268		7,538		△ 1,729	7,338	
	商品及び製品	6,424		6,904		479	6,979	
	仕掛品	27		31		3	37	
	原材料及び貯蔵品	11,465		15,821		4,356	12,601	
	その他	15,605		12,531		△ 3,074	10,308	
	貸倒引当金	△ 84		△ 109		△ 24	△ 92	
	流動資産合計	81,510	54.3	76,585	53.1	△ 4,923	69,359	50.0
II	固定資産							
	有形固定資産							
	建物及び構築物	14,258		15,190		931	14,400	
	機械装置及び運搬具	17,522		15,642		△ 1,879	17,283	
	工具、器具及び備品	919		780		△ 139	853	
	土地	12,258		12,246		△ 11	12,190	
	リース資産	2,862		3,161		298	3,094	
	建設仮勘定	483		459		△ 23	152	
	有形固定資産合計	48,304	32.1	47,480	32.9	△ 824	47,975	34.6
	無形固定資産							
	のれん	—		229		229	19	
	ソフトウェア	1,512		1,648		136	1,589	
	その他	427		445		18	452	
	無形固定資産合計	1,939	1.3	2,324	1.6	384	2,061	1.5
	投資その他の資産							
	投資有価証券	15,061		13,485		△ 1,575	15,010	
	その他	3,550		4,571		1,020	4,438	
	貸倒引当金	△ 158		△ 157		1	△ 163	
	投資その他の資産合計	18,452	12.3	17,899	12.4	△ 553	19,286	13.9
	固定資産合計	68,696	45.7	67,704	46.9	△ 992	69,322	50.0
	資産合計	150,207	100.0	144,289	100.0	△ 5,917	138,682	100.0

(3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第3四半期 連結会計期間末 (平成19年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成20年12月31日)		増 減 金 額	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)								
I 流 動 負 債								
支払手形及び買掛金		17,021		14,523		△ 2,497	14,170	
短期借入金		3,037		9,079		6,041	2,487	
一年内返済予定の長期借入金		2,000		2,000		—	2,000	
未払金		9,655		7,891		△ 1,763	10,026	
未払法人税等		2,258		1,492		△ 766	162	
賞与引当金		1,217		765		△ 451	1,839	
役員賞与引当金		54		—		△ 54	73	
その他		3,576		5,415		1,839	1,864	
流動負債合計		38,821	25.8	41,168	28.5	2,346	32,624	23.5
II 固 定 負 債								
長期借入金		6,346		6,434		88	5,000	
退職給付引当金		2,779		2,675		△ 104	2,520	
負ののれん		21		—		△ 21	—	
その他		7,676		7,565		△ 110	8,158	
固定負債合計		16,823	11.2	16,675	11.6	△ 148	15,679	11.3
負債合計		55,644	37.0	57,843	40.1	2,198	48,303	34.8
(純資産の部)								
I 株 主 資 本								
資本金		19,985	13.3	19,985	13.9	—	19,985	14.4
資本剰余金		23,733	15.8	23,733	16.4	—	23,733	17.1
利益剰余金		45,346	30.2	43,508	30.1	△ 1,838	43,989	31.7
自己株式		△ 40	△ 0.0	△ 67	△ 0.0	△ 26	△ 42	△ 0.0
株主資本合計		89,024	59.3	87,159	60.4	△ 1,864	87,665	63.2
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等								
その他有価証券評価差額金		1,550	1.0	129	0.1	△ 1,421	1,022	0.7
繰延ヘッジ損益		2,495	1.7	△ 1,809	△ 1.2	△ 4,304	△ 9	△ 0.0
為替換算調整勘定		△ 279	△ 0.2	△ 823	△ 0.6	△ 543	△ 323	△ 0.2
評価・換算差額等合計		3,766	2.5	△ 2,503	△ 1.7	△ 6,269	689	0.5
III 少 数 株 主 持 分		1,771	1.2	1,789	1.2	18	2,022	1.5
純資産合計		94,562	63.0	86,445	59.9	△ 8,116	90,378	65.2
負債純資産合計		150,207	100.0	144,289	100.0	△ 5,917	138,682	100.0

(注) 前連結会計年度末に係る要約連結貸借対照表及び前第3四半期連結会計期間末四半期連結貸借対照表は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(4) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		増 減		前連結会計年度の 連結損益計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
	I 売 上 高	158,897	100.0	137,983	100.0	△ 20,913	△ 13.2	200,483
II 売 上 原 価	84,778	53.4	75,635	54.8	△ 9,143		108,954	54.3
売 上 総 利 益	74,118	46.6	62,347	45.2	△ 11,770	△ 15.9	91,529	45.7
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	64,027	40.2	57,770	41.9	△ 6,256		82,742	41.3
営 業 利 益	10,091	6.4	4,577	3.3	△ 5,514	△ 54.6	8,786	4.4
IV 営 業 外 収 益								
受 取 利 息	161		105		△ 55		221	
受 取 配 当 金	150		184		34		218	
そ の 他	308		391		83		458	
営 業 外 収 益 合 計	620	0.4	682	0.5	61		897	0.5
V 営 業 外 費 用								
支 払 利 息	275		450		175		375	
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	471		21		△ 449		773	
休 止 固 定 資 産 減 価 償 却 費	—		157		157		—	
そ の 他	100		221		120		169	
営 業 外 費 用 合 計	848	0.6	850	0.6	2		1,318	0.7
経 常 利 益	9,863	6.2	4,408	3.2	△ 5,454	△ 55.3	8,366	4.2
VI 特 別 利 益								
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	—		1		1		—	
固 定 資 産 売 却 益	155		2		△ 153		158	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	1		61		60		1	
特 別 利 益 合 計	157	0.1	65	0.1	△ 91		159	0.1
VII 特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損	192		830		637		557	
リ ー ス 会 計 基 準 適 用 に 伴 う 影 響 額	—		98		98		—	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	0		4		4		1	
訴 訟 関 連 損 失	—		116		116		—	
事 業 再 編 損	—		9		9		—	
投 資 有 価 証 券 売 却 損	0		—		△ 0		0	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	3		—		△ 3		3	
特 別 損 失 合 計	196	0.1	1,060	0.8	864		561	0.3
税金等調整前 四半期(当期)純利益	9,824	6.2	3,414	2.5	△ 6,410	△ 65.2	7,964	4.0
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	4,376		2,706		△ 1,670		1,721	
法 人 税 等 調 整 額	31		△ 237		△ 269		2,225	
法 人 税 等 合 計	4,408	2.8	2,468	1.8	△ 1,939		3,946	2.0
少 数 株 主 損 失 (△)	△ 107	△ 0.1	△ 66	△ 0.0	40		△ 150	△ 0.1
四 半 期 (当 期) 純 利 益	5,523	3.5	1,012	0.7	△ 4,511	△ 81.7	4,167	2.1

(注) 前連結会計年度の連結損益計算書及び前第3四半期連結累計期間四半期連結損益計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

なおこの組替えにより、前連結会計年度の売上総利益は1,334百万円減少し、営業利益が1,065百万円減少しておりますが、経常利益

及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、この組替えにより前第3四半期連結累計期間の売上総利益は1,050百万円減少し、営業利益が854百万円減少しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(12月31日に終了した3ヶ月間)

(単位：百万円、%)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)		増 減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
	I 売 上 高	48,755	100.0	39,803	100.0	△ 8,951
II 売 上 原 価	26,787	54.9	22,481	56.5	△ 4,306	
売 上 総 利 益	21,967	45.1	17,322	43.5	△ 4,644	△ 21.1
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	19,305	39.6	15,586	39.1	△ 3,718	
営 業 利 益	2,662	5.5	1,735	4.4	△ 926	△ 34.8
IV 営 業 外 収 益						
受 取 利 息	59		38		△ 20	
受 取 配 当 金	63		58		△ 4	
そ の 他	99		49		△ 50	
営 業 外 収 益 合 計	222	0.5	146	0.3	△ 76	
V 営 業 外 費 用						
支 払 利 息	98		146		48	
持分法による投資損失	381		110		△ 271	
休止固定資産減価償却費	—		52		52	
そ の 他	29		137		107	
営 業 外 費 用 合 計	509	1.1	446	1.1	△ 62	
経 常 利 益	2,374	4.9	1,435	3.6	△ 939	△ 39.6
VI 特 別 利 益						
貸倒引当金戻入額	—		1		1	
固定資産売却益	2		—		△ 2	
投資有価証券売却益	1		0		△ 1	
特 別 利 益 合 計	4	0.0	1	0.0	△ 2	
VII 特 別 損 失						
固定資産処分損	25		717		691	
訴訟関連損失	—		116		116	
事業再編損	—		9		9	
投資有価証券売却損	0		—		0	
特 別 損 失 合 計	25	0.1	844	2.1	818	
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,353	4.8	593	1.5	△ 1,760	△ 74.8
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	1,614		775		△ 839	
法 人 税 等 調 整 額	△ 300		△ 23		277	
法 人 税 等 合 計	1,313	2.7	751	1.9	△ 561	
少 数 株 主 損 失 (△)	△ 61	△ 0.2	△ 69	△ 0.2	△ 8	
四半期純利益又は純損失(△)	1,101	2.3	△ 89	△ 0.2	△ 1,190	—

(注) 前第3四半期連結会計期間四半期連結損益計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(5) 四半期連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日至平成19年12月31日)							
	株主資本					評価・換算差額等 (注)	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成19年3月31日残高	19,985	23,733	41,316	△ 33	85,001	5,430	1,966	92,399
第3四半期連結累計期間中 の変動額								
剰余金の配当			△ 1,493		△ 1,493			△ 1,493
四半期純利益			5,523		5,523			5,523
自己株式の取得				△ 7	△ 7			△ 7
株主資本以外の項目の 第3四半期連結累計期間中 の変動額(純額)						△ 1,664	△ 195	△ 1,859
第3四半期連結累計期間中 の変動額合計	—	—	4,030	△ 7	4,022	△ 1,664	△ 195	2,162
平成19年12月31日残高	19,985	23,733	45,346	△ 40	89,024	3,766	1,771	94,562

(注) 評価・換算差額等の内訳

(単位：百万円)

	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計
平成19年3月31日残高	2,462	3,125	△ 157	5,430
第3四半期連結累計期間 中の変動額	△ 912	△ 629	△ 122	△ 1,664
平成19年12月31日残高	1,550	2,495	△ 279	3,766

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年12月31日)							
	株主資本					評価・換算差額等 (注)	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成20年3月31日残高	19,985	23,733	43,989	△ 42	87,665	689	2,022	90,378
第3四半期連結累計期間中 の変動額								
剰余金の配当			△ 1,493		△ 1,493			△ 1,493
四半期純利益			1,012		1,012			1,012
自己株式の取得				△ 24	△ 24			△ 24
株主資本以外の項目の 第3四半期連結累計期間中 の変動額(純額)						△ 3,193	△ 233	△ 3,426
第3四半期連結累計期間中 の変動額合計	—	—	△ 481	△ 24	△ 506	△ 3,193	△ 233	△ 3,932
平成20年12月31日残高	19,985	23,733	43,508	△ 67	87,159	△ 2,503	1,789	86,445

(注) 評価・換算差額等の内訳

(単位：百万円)

	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計
平成20年3月31日残高	1,022	△ 9	△ 323	689
第3四半期連結累計期間 中の変動額	△ 892	△ 1,800	△ 500	△ 3,193
平成20年12月31日残高	129	△ 1,809	△ 823	△ 2,503

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自平成19年4月1日至平成20年3月31日)							
	株主資本					評価・換算差額等 (注)	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成19年3月31日残高	19,985	23,733	41,316	△ 33	85,001	5,430	1,966	92,399
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 1,493		△ 1,493			△ 1,493
当期純利益			4,167		4,167			4,167
自己株式の取得				△ 9	△ 9			△ 9
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						△ 4,740	55	△ 4,685
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,673	△ 9	2,664	△ 4,740	55	△ 2,020
平成20年3月31日残高	19,985	23,733	43,989	△ 42	87,665	689	2,022	90,378

(注) 評価・換算差額等の内訳

(単位：百万円)

	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計
平成19年3月31日残高	2,462	3,125	△ 157	5,430
連結会計年度中の変動額	△ 1,440	△ 3,134	△ 166	△ 4,740
平成20年3月31日残高	1,022	△ 9	△ 323	689

(6) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	期 別		増減	前連結会計年度の 連結キャッシュ・フロー計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	9,824	3,414	△ 6,410	7,964
2 減 価 償 却 費	5,487	5,238	△ 248	7,471
3 リース会計基準適用に伴う影響額	—	98	98	—
4 受 取 利 息 及 び 配 当 金	△ 312	△ 290	21	△ 439
5 支 払 利 息	275	450	175	375
6 賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 1,353	△ 1,204	148	△ 713
7 その他の引当金の増減額(△は減少)	196	185	△ 11	△ 50
8 持分法による投資損益(△は利益)	471	21	△ 449	773
9 固 定 資 産 処 分 損	192	830	637	557
10 売上債権の増減額(△は増加)	△ 3,523	38	3,561	2,460
11 たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 2,196	△ 2,899	△ 702	△ 3,950
12 未収入金の増減額(△は増加)	1,280	1,070	△ 210	2,092
13 仕入債務の増減額(△は減少)	△ 4,101	227	4,329	△ 7,924
14 未払金の増減額(△は減少)	△ 2,262	△ 1,274	987	△ 2,914
15 その他の流動資産の増減額(△は増加)	△ 605	△ 983	△ 378	69
16 その他の流動負債の増減額(△は減少)	677	579	△ 97	168
17 そ の 他 の 増 加 額	73	146	72	198
18 そ の 他 の 減 少 額	△ 264	△ 306	△ 42	△ 268
小 計	3,861	5,340	1,479	5,870
19 利息及び配当金の受取額	326	264	△ 62	508
20 利息の支払額	△ 261	△ 413	△ 152	△ 376
21 法人税等の支払額	△ 4,079	△ 1,576	2,502	△ 3,777
22 法人税等の還付額	—	580	580	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 152	4,195	4,348	2,225
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1 有価証券の取得による支出	△ 4,373	△ 8	4,364	△ 5,297
2 有価証券の売却による収入	4	276	272	38
3 固定資産の取得による支出	△ 6,589	△ 3,392	3,197	△ 8,527
4 固定資産の除却による支出	—	△ 20	△ 20	—
5 固定資産の売却による収入	193	17	△ 175	23
6 貸付けによる支出	△ 1,148	△ 457	691	△ 3,106
7 貸付金の回収による収入	128	147	19	2,006
8 そ の 他 の 増 加 額	23	157	134	23
9 そ の 他 の 減 少 額	△ 74	△ 31	42	△ 159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,837	△ 3,311	8,525	△ 14,999

(単位：百万円)

項 目	期 別		増減	前連結会計年度の 連結キャッシュ・フロー計算書 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
	金 額	金 額	金 額	金 額
Ⅲ財務活動によるキャッシュ・フロー				
1 借入れによる収入	986	6,426	5,440	4,600
2 借入金の返済による支出	△ 1,240	△ 2,911	△ 1,671	△ 6,696
3 ファイナンス・リース債務の 返済による支出	△ 607	△ 704	△ 96	△ 810
4 少数株主からの払込みによる収入	40	-	△ 40	364
5 少数株主からの株式取得による支出	-	△ 227	△ 227	-
6 配当金の支払額	△ 1,481	△ 1,476	4	△ 1,483
7 少数株主への配当金の支払額	△ 57	△ 54	3	△ 57
8 自己株式の取得による支出	△ 7	△ 24	△ 17	△ 9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,367	1,027	3,395	△ 4,091
Ⅳ現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 42	△ 85	△ 42	△ 55
Ⅴ現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 14,400	1,826	16,226	△ 16,922
Ⅵ新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	15	15	-
Ⅶ現金及び現金同等物の期首残高	29,981	13,059	△ 16,922	29,981
Ⅷ現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	15,581	14,901	△ 679	13,059

(注) 前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(7) 販売費及び一般管理費明細

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		増減		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
販 売 手 数 料	3,819	2.4	2,746	2.0	△ 1,072	△ 28.1	4,757	2.4
販 売 促 進 費	26,314	16.6	22,632	16.4	△ 3,681	△ 14.0	33,619	16.8
広 告 宣 伝 費	5,674	3.6	5,453	4.0	△ 221	△ 3.9	7,376	3.7
運 賃 ・ 保 管 料	8,157	5.1	7,288	5.3	△ 869	△ 10.7	10,345	5.2
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	40	0.0	17	0.0	△ 22	△ 55.7	25	0.0
人 件 費	10,633	6.7	10,582	7.7	△ 51	△ 0.5	14,216	7.1
減 価 償 却 費	1,483	0.9	1,333	1.0	△ 150	△ 10.1	2,003	1.0
そ の 他	7,903	4.9	7,716	5.6	△ 187	△ 2.4	10,397	5.2
合 計	64,027	40.2	57,770	41.9	△ 6,256	△ 9.8	82,742	41.3

(12月31日に終了した3ヶ月間)

(単位：百万円、%)

期 別 科 目	前第3四半期 連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率
販 売 手 数 料	1,065	2.2	759	1.9	△ 305	△ 28.7
販 売 促 進 費	8,006	16.4	6,537	16.4	△ 1,468	△ 18.3
広 告 宣 伝 費	1,058	2.2	305	0.8	△ 753	△ 71.2
運 賃 ・ 保 管 料	2,548	5.2	2,101	5.3	△ 447	△ 17.6
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	0	0.0	△ 2	△ 0.0	△ 3	-
人 件 費	3,504	7.2	3,202	8.0	△ 301	△ 8.6
減 価 償 却 費	519	1.1	453	1.1	△ 65	△ 12.7
そ の 他	2,602	5.3	2,230	5.6	△ 371	△ 14.3
合 計	19,305	39.6	15,586	39.1	△ 3,718	△ 19.3

(注) 1. 百分比は、売上高に対する割合です。

2. 前連結会計年度、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間の実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(8) 売上原価に含まれるたな卸資産廃棄損明細

(単位：百万円)

科目	期別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前連結会計年度
		(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
商品及び製品		123	122	203
原材料		661	129	687
輸入雑損失等		160	214	295
合計		945	466	1,186

(12月31日に終了した3ヶ月間)

(単位：百万円)

科目	期別	前第3四半期 連結会計期間	当第3四半期 連結会計期間
		(自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)	(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
商品及び製品		57	18
原材料		65	64
輸入雑損失等		29	56
合計		151	138

(注) 前連結会計年度、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間の実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(9) 支払利息明細

(単位：百万円)

科目	期別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前連結会計年度
		(自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
支払利息		184	351	253
リース支払利息		90	99	121
合計		275	450	375

(12月31日に終了した3ヶ月間)

(単位：百万円)

科目	期別	前第3四半期 連結会計期間	当第3四半期 連結会計期間
		(自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)	(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
支払利息		69	115
リース支払利息		28	31
合計		98	146

(注) 前連結会計年度、前第3四半期連結累計期間及び前第3四半期連結会計期間の実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(10) 有価証券関係

前連結会計年度末(平成20年3月31日)

その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	10,440	12,147	1,707
その他	137	142	4
計	10,578	12,290	1,711

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)

その他有価証券で時価のあるものが、事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて変動が見られます。

その他有価証券で時価のあるもの

	取得価額(百万円)	四半期連結貸借対照表 計上額(百万円)	差額(百万円)
株式	10,339	10,555	216
その他	32	30	△ 1
計	10,371	10,586	214

(11) セグメント別売上高

事業の種類		前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		増減		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	金額(百万円)	構成比(%)
飲料	外部顧客に対するもの	80,332		60,913		△ 19,419	△ 24.2	98,761	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	80,332	47.9	60,913	41.7	△ 19,419	△ 24.2	98,761	46.7
乳酸菌	外部顧客に対するもの	11,523		9,013		△ 2,510	△ 21.8	15,495	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	11,523	6.9	9,013	6.2	△ 2,510	△ 21.8	15,495	7.3
食品	外部顧客に対するもの	22,144		21,257		△ 886	△ 4.0	29,008	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	22,144	13.2	21,257	14.5	△ 886	△ 4.0	29,008	13.7
ギフト	外部顧客に対するもの	7,042		7,313		270	3.8	7,175	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	7,042	4.2	7,313	5.0	270	3.8	7,175	3.5
業務用	外部顧客に対するもの	25,817		27,833		2,015	7.8	34,397	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	25,817	15.4	27,833	19.1	2,015	7.8	34,397	16.3
生鮮野菜	外部顧客に対するもの	4,908		5,000		92	1.9	6,650	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	4,908	2.9	5,000	3.4	92	1.9	6,650	3.1
通販	外部顧客に対するもの	5,036		5,066		30	0.6	6,304	
	セグメント間取引	—		—		—		—	
	計	5,036	3.0	5,066	3.5	30	0.6	6,304	3.0
その他	外部顧客に対するもの	346		230		△ 116	△ 33.6	435	
	セグメント間取引	7		3		△ 4		10	
	計	353	0.2	233	0.2	△ 120	△ 34.0	445	0.2
食品セグメント計	外部顧客に対するもの	157,152		136,629		△ 20,523	△ 13.1	198,229	
	セグメント間取引	7		3		△ 4		10	
	計	157,159	93.7	136,632	93.6	△ 20,527	△ 13.1	198,239	93.8
物流	外部顧客に対するもの	1,323		921		△ 402	△ 30.4	1,709	
	セグメント間取引	8,347		7,566		△ 780		10,319	
	計	9,671	5.8	8,488	5.8	△ 1,183	△ 12.2	12,029	5.7
不動産	外部顧客に対するもの	421		433		12	2.9	544	
	セグメント間取引	425		410		△ 14		557	
	計	846	0.5	844	0.6	△ 2	△ 0.3	1,102	0.5
その他セグメント計	外部顧客に対するもの	1,745		1,354		△ 390	△ 22.4	2,254	
	セグメント間取引	8,773		7,977		△ 795		10,877	
	計	10,518	6.3	9,332	6.4	△ 1,186	△ 11.3	13,131	6.2
セグメント売上高		167,678	100.0	145,965	100.0	△ 21,713	△ 12.9	211,370	100.0
セグメント間取引		△ 8,781	—	△ 7,981	—	799		△ 10,887	—
連結売上高		158,897	—	137,983	—	△ 20,913	△ 13.2	200,483	—

(注) 1. 金額は消費税等を含めておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次の通りであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		前連結会計年度 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
伊藤忠商事㈱	36,984	23.3	30,011	21.8	45,969	22.9

(12月31日に終了した3ヶ月間)

事業の種類		前第3四半期 連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		増減	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	増減率 (%)
飲料	外部顧客に対するもの	22,702		15,368		△ 7,333	△ 32.3
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	22,702	44.2	15,368	36.4	△ 7,333	△ 32.3
乳酸菌	外部顧客に対するもの	3,310		2,615		△ 694	△ 21.0
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	3,310	6.4	2,615	6.2	△ 694	△ 21.0
食品	外部顧客に対するもの	7,629		6,711		△ 918	△ 12.0
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	7,629	14.8	6,711	15.9	△ 918	△ 12.0
ギフト	外部顧客に対するもの	2,107		2,085		△ 21	△ 1.0
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	2,107	4.1	2,085	4.9	△ 21	△ 1.0
業務用	外部顧客に対するもの	9,496		9,556		60	0.6
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	9,496	18.5	9,556	22.7	60	0.6
生鮮野菜	外部顧客に対するもの	1,265		1,380		114	9.1
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	1,265	2.5	1,380	3.3	114	9.1
通販	外部顧客に対するもの	1,564		1,541		△ 22	△ 1.4
	セグメント間取引	—		—		—	
	計	1,564	3.0	1,541	3.7	△ 22	△ 1.4
その他	外部顧客に対するもの	93		90		△ 3	△ 3.6
	セグメント間取引	1		0		0	
	計	95	0.2	90	0.2	△ 4	△ 4.5
食品セグメント計	外部顧客に対するもの	48,170		39,351		△ 8,819	△ 18.3
	セグメント間取引	1		0		0	
	計	48,172	93.7	39,351	93.3	△ 8,820	△ 18.3
物流	外部顧客に対するもの	454		311		△ 143	△ 31.5
	セグメント間取引	2,532		2,250		△ 282	
	計	2,987	5.8	2,562	6.1	△ 425	△ 14.2
不動産	外部顧客に対するもの	129		141		11	9.2
	セグメント間取引	139		137		△ 2	
	計	269	0.5	278	0.6	9	3.5
その他セグメント計	外部顧客に対するもの	584		452		△ 131	△ 22.5
	セグメント間取引	2,672		2,388		△ 284	
	計	3,257	6.3	2,841	6.7	△ 415	△ 12.8
セグメント売上高		51,429	100.0	42,192	100.0	△ 9,236	△ 18.0
セグメント間取引		△ 2,674	—	△ 2,388	—	285	
連結売上高		48,755	—	39,803	—	△ 8,951	△ 18.4

(注) 金額は消費税等を含めておりません。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次の通りであります。

相手先	前第3四半期連結会計期間 (自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
伊藤忠商事(株)	11,045	22.7	8,237	20.7

(12) 四半期損益情報

(単位：百万円)

前連結会計年度	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第4四半期 連結会計期間	通期
	(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)	(自平成19年7月1日 至平成19年9月30日)	(自平成19年10月1日 至平成19年12月31日)	(自平成20年1月1日 至平成20年3月31日)	(自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
売上高	52,972	57,170	48,755	41,586	200,483
(対前年同期増減率)	(11.4%)	(8.3%)	(9.6%)	(△1.4%)	(7.2%)
営業利益	4,326	3,102	2,662	△1,304	8,786
(対売上高比率)	(8.2%)	(5.4%)	(5.5%)	(△3.1%)	(4.4%)
経常利益	4,241	3,247	2,374	△1,496	8,366
(対売上高比率)	(8.0%)	(5.7%)	(4.9%)	(△3.6%)	(4.2%)
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,166	3,304	2,353	△1,860	7,964
(対売上高比率)	(7.9%)	(5.8%)	(4.8%)	(△4.5%)	(4.0%)
四半期(当期)純利益	2,400	2,022	1,101	△1,356	4,167
(対売上高比率)	(4.5%)	(3.5%)	(2.3%)	(△3.3%)	(2.1%)

(注) 前連結会計年度の第1四半期連結会計期間、第2四半期連結会計期間、第3四半期連結会計期間、第4四半期連結会計期間及び通期実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(単位：百万円)

当連結会計年度	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	(*) 第4四半期 連結会計期間予想	通期予想
	(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	(自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	(自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	(自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
売上高	48,620	49,559	39,803	42,016	180,000
(対前年同期増減率)	(△8.2%)	(△13.3%)	(△18.4%)	(1.0%)	(△10.2%)
営業利益	1,504	1,336	1,735	222	4,800
(対売上高比率)	(3.1%)	(2.7%)	(4.4%)	(0.5%)	(2.7%)
経常利益	1,682	1,290	1,435	91	4,500
(対売上高比率)	(3.5%)	(2.6%)	(3.6%)	(0.2%)	(2.5%)
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,483	1,337	593	△614	2,800
(対売上高比率)	(3.1%)	(2.7%)	(1.5%)	(△1.5%)	(1.6%)
四半期(当期)純利益	693	407	△89	587	1,600
(対売上高比率)	(1.4%)	(0.8%)	(△0.2%)	(1.4%)	(0.9%)

(*) 第4四半期連結会計期間予想は、公表している通期予想から第3四半期連結累計期間実績を差し引いた数値であります。

(13) 事業別連結営業利益

＜平成20年度＞

平成21年3月期第1四半期連結会計期間（平成20年4月1日～平成20年6月30日）－ 実績

(単位：百万円)

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	28,348	7,072	9,007	2,226	1,408	556	-	48,620
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	2,792	△ 2,792	-
計	28,348	7,072	9,007	2,226	1,408	3,349	△ 2,792	48,620
II 営業費用	27,456	6,553	8,904	2,531	1,364	3,098	△ 2,792	47,115
営業利益	892	518	103	△ 304	44	250	-	1,504
売上高営業利益率(%)	3.2%	7.3%	1.1%	△ 13.7%	3.1%	7.5%	-	3.1%

平成21年3月期第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日～平成20年9月30日）－ 実績

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	28,821	7,474	9,268	1,394	2,116	485	-	49,559
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	2,799	△ 2,799	-
計	28,821	7,474	9,268	1,394	2,116	3,284	△ 2,799	49,559
II 営業費用	28,933	6,318	9,404	1,612	1,617	3,136	△ 2,799	48,223
営業利益	△ 112	1,155	△ 135	△ 218	498	148	-	1,336
売上高営業利益率(%)	△ 0.4%	15.5%	△ 1.5%	△ 15.6%	23.5%	4.5%	-	2.7%

平成21年3月期第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日～平成20年12月31日）－ 実績

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	20,070	6,711	9,556	1,380	1,541	542	-	39,803
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	2,388	△ 2,388	-
計	20,070	6,711	9,556	1,380	1,541	2,931	△ 2,388	39,803
II 営業費用	19,464	6,079	9,434	1,616	1,102	2,759	△ 2,388	38,068
営業利益	605	631	122	△ 236	439	172	-	1,735
売上高営業利益率(%)	3.0%	9.4%	1.3%	△ 17.0%	28.5%	5.9%	-	4.4%

平成21年3月期第4四半期連結会計期間（平成21年1月1日～平成21年3月31日）－ (予想)

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	22,860	6,643	8,967	1,700	1,234	616	-	42,016
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	2,319	△ 2,319	-
計	22,860	6,643	8,967	1,700	1,234	2,934	△ 2,319	42,016
II 営業費用	23,046	6,049	8,958	2,041	1,116	2,906	△ 2,319	41,794
営業利益	△ 185	595	10	△ 342	118	28	-	222
売上高営業利益率(%)	△ 0.8%	9.0%	0.1%	△ 20.1%	9.6%	1.0%	-	0.5%

平成21年3月期通期 (予想)

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	100,100	27,900	36,800	6,700	6,300	2,200	-	180,000
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	10,300	△ 10,300	-
計	100,100	27,900	36,800	6,700	6,300	12,500	△ 10,300	180,000
II 営業費用	98,900	25,000	36,700	7,800	5,200	11,900	△ 10,300	175,200
営業利益	1,200	2,900	100	△ 1,100	1,100	600	-	4,800
売上高営業利益率(%)	1.2%	10.4%	0.3%	△ 16.4%	17.5%	4.8%	-	2.7%

<平成19年度>

平成20年3月期第1四半期連結会計期間（平成19年4月1日～平成19年6月30日）－ 実績

（単位：百万円）

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	33,922	7,629	7,625	1,986	1,295	512	-	52,972
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	3,063	△ 3,063	-
計	33,922	7,629	7,625	1,986	1,295	3,576	△ 3,063	52,972
II 営業費用	30,952	7,084	7,098	2,044	1,214	3,315	△ 3,063	48,645
営業利益	2,970	545	527	△ 58	81	260	-	4,326
売上高営業利益率(%)	8.8%	7.1%	6.9%	△ 2.9%	6.3%	7.3%	-	8.2%

平成20年3月期第2四半期連結会計期間（平成19年7月1日～平成19年9月30日）－ 実績

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	36,855	6,884	8,695	1,655	2,175	899	-	57,170
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	3,042	△ 3,042	-
計	36,855	6,884	8,695	1,655	2,175	3,941	△ 3,042	57,170
II 営業費用	34,545	6,632	8,700	1,779	1,794	3,653	△ 3,042	54,066
営業利益	2,310	251	△ 4	△ 123	381	287	-	3,102
売上高営業利益率(%)	6.3%	3.7%	△ 0.1%	△ 7.4%	17.5%	7.3%	-	5.4%

平成20年3月期第3四半期連結会計期間（平成19年10月1日～平成19年12月31日）－ 実績

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	28,121	7,629	9,496	1,266	1,564	679	-	48,755
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	2,675	△ 2,675	-
計	28,121	7,629	9,496	1,266	1,564	3,354	△ 2,675	48,755
II 営業費用	26,817	6,935	9,038	1,579	1,274	3,126	△ 2,675	46,093
営業利益	1,304	694	457	△ 313	289	228	-	2,662
売上高営業利益率(%)	4.6%	9.1%	4.8%	△ 24.7%	18.5%	6.8%	-	5.5%

平成20年3月期第4四半期連結会計期間（平成20年1月1日～平成20年3月31日）－ 実績

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	22,533	6,864	8,579	1,742	1,269	598	-	41,586
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	2,106	△ 2,106	-
計	22,533	6,864	8,579	1,742	1,269	2,704	△ 2,106	41,586
II 営業費用	23,565	6,445	8,978	2,053	1,302	2,650	△ 2,106	42,890
営業利益	△ 1,032	418	△ 398	△ 311	△ 33	54	-	△ 1,304
売上高営業利益率(%)	△ 4.6%	6.1%	△ 4.6%	△ 17.9%	△ 2.7%	2.0%	-	△ 3.1%

平成20年3月期通期（実績）

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	121,432	29,008	34,397	6,650	6,304	2,689	-	200,483
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	10,887	△ 10,887	-
計	121,432	29,008	34,397	6,650	6,304	13,577	△ 10,887	200,483
II 営業費用	115,880	27,098	33,815	7,456	5,585	12,746	△ 10,887	191,696
営業利益	5,551	1,910	581	△ 806	719	830	-	8,786
売上高営業利益率(%)	4.6%	6.6%	1.7%	△ 12.1%	11.4%	6.1%	-	4.4%

（注）前連結会計年度の第1四半期連結会計期間、第2四半期連結会計期間、第3四半期連結会計期間、第4四半期連結会計期間及び通期実績については、当期の会計基準に組替えて表示しております。

<増減>

第1四半期連結会計期間 - 増減

(単位：百万円)

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	△ 5,574	△ 557	1,382	240	113	44	-	△ 4,351
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	△ 271	271	-
計	△ 5,574	△ 557	1,382	240	113	△ 227	271	△ 4,351
II 営業費用	△ 3,496	△ 531	1,806	487	150	△ 217	271	△ 1,530
営業利益	△ 2,078	△ 27	△ 424	△ 246	△ 37	△ 10	-	△ 2,821

第2四半期連結会計期間 - 増減

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	△ 8,034	590	573	△ 261	△ 59	△ 414	-	△ 7,611
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	△ 243	243	-
計	△ 8,034	590	573	△ 261	△ 59	△ 657	243	△ 7,611
II 営業費用	△ 5,612	△ 314	704	△ 167	△ 177	△ 517	243	△ 5,843
営業利益	△ 2,422	904	△ 131	△ 95	117	△ 139	-	△ 1,767

第3四半期連結会計期間 - 増減

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	△ 8,051	△ 918	60	114	△ 23	△ 137	-	△ 8,951
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	△ 287	287	-
計	△ 8,051	△ 918	60	114	△ 23	△ 423	287	△ 8,951
II 営業費用	△ 7,353	△ 856	396	37	△ 172	△ 367	287	△ 8,025
営業利益	△ 699	△ 63	△ 335	77	150	△ 56	-	△ 926

第4四半期連結会計期間 - 増減

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	327	△ 221	388	△ 42	△ 35	18	-	430
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	213	△ 213	-
計	327	△ 221	388	△ 42	△ 35	230	△ 213	430
II 営業費用	△ 519	△ 396	△ 20	△ 12	△ 186	256	△ 213	△ 1,096
営業利益	847	177	408	△ 31	151	△ 26	-	1,526

通期 - 増減

	飲料	食品	業務用	生鮮	通販	その他計	消去 又は全社	連結
I 売上高								
外部顧客に対する売上高	△ 21,332	△ 1,108	2,403	50	△ 4	△ 489	-	△ 20,483
内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	△ 587	587	-
計	△ 21,332	△ 1,108	2,403	50	△ 4	△ 1,077	587	△ 20,483
II 営業費用	△ 16,980	△ 2,098	2,885	344	△ 385	△ 846	587	△ 16,496
営業利益	△ 4,351	990	△ 481	△ 294	381	△ 230	-	△ 3,986

(14) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第3四半期 会計期間末 (平成19年12月31日)		当第3四半期 会計期間末 (平成20年12月31日)		増 減		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	金 額	構成比
(資産の部)									
I 流	動 資 産								
現 金 及 び 預 金		3,675		3,428		△ 247		1,902	
受 取 手 形		58		64		5		38	
売 掛 金		30,479		24,635		△ 5,843		25,040	
有 価 証 券		9,090		7,508		△ 1,582		7,195	
商 品 及 び 製 品		5,622		5,302		△ 319		6,224	
仕 掛 品		9		13		3		19	
原 材 料 及 び 貯 蔵 品		9,025		13,610		4,585		9,540	
前 払 費 用		4,717		5,231		514		5,463	
繰 延 税 金 資 産		506		569		62		301	
短 期 貸 付 金		1,819		2,614		795		1,308	
未 収 入 金		6,152		4,101		△ 2,050		3,437	
デ リ バ イ ブ 債 権		3,775		2,356		△ 1,419		3,213	
そ の 他 の 債 権		4,179		—		△ 4,179		—	
貸 倒 引 当 金		501		149		△ 351		82	
		△ 56		△ 49		6		△ 37	
流 動 資 産 合 計		79,557	59.1	69,536	54.0	△ 10,020		63,731	51.3
II 固 定 資 産									
有 形 固 定 資 産									
建 物		8,254		8,165		△ 89		8,134	
建 物 取 得 価 額		20,012		20,112		100		19,724	
減 価 償 却 累 計 額		11,757		11,947		189		11,590	
構 築 物		871		822		△ 49		857	
構 築 物 取 得 価 額		3,372		3,401		29		3,381	
減 価 償 却 累 計 額		2,501		2,579		78		2,524	
機 械 及 び 装 置		8,702		6,663		△ 2,038		8,458	
機 械 及 び 装 置 取 得 価 額		40,761		39,023		△ 1,737		40,586	
減 価 償 却 累 計 額		32,058		32,359		301		32,128	
車 両 及 び 運 搬 具		8		6		△ 1		8	
車 両 及 び 運 搬 具 取 得 価 額		82		84		1		82	
減 価 償 却 累 計 額		74		77		3		74	
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品		625		516		△ 108		564	
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品 取 得 価 額		4,232		4,152		△ 79		4,172	
減 価 償 却 累 計 額		3,607		3,636		28		3,608	
土 地		2,484		2,618		133		2,484	
一 般 資 産		1,155		1,201		45		1,233	
建 設 仮 勘 定		46		53		7		9	
有 形 固 定 資 産 合 計		22,147	16.5	20,047	15.6	△ 2,100		21,750	17.4
無 形 固 定 資 産									
借 地 権		0		0		—		0	
商 標		147		117		△ 29		139	
ソ フ ト ウ ェ ア		1,455		1,574		118		1,526	
そ の 他 の 債 権		34		35		1		35	
無 形 固 定 資 産 合 計		1,637	1.2	1,727	1.3	90		1,702	1.4
投 資 所 持 株 式									
投 資 有 価 証 券		13,839		12,489		△ 1,349		13,903	
関 係 会 社 株 式		7,529		11,071		3,541		9,497	
出 資 金		15		15		—		15	
関 係 会 社 出 資 金		633		1,142		508		1,142	
関 係 会 社 長 期 貸 付 金		7,559		10,200		2,640		10,450	
更 生 債 権		35		30		△ 4		35	
長 期 前 払 費 用		214		121		△ 92		193	
繰 延 税 金 資 産		105		1,116		1,010		448	
保 険 積 立 資 産		398		335		△ 63		399	
敷 設 金		638		655		17		708	
そ の 他 の 債 権		462		456		△ 5		461	
貸 倒 引 当 金		△ 149		△ 152		△ 3		△ 155	
投 資 所 持 株 式 合 計		31,282	23.2	37,481	29.1	6,199		37,099	29.9
固 定 資 産 合 計		55,067	40.9	59,256	46.0	4,189		60,553	48.7
資 産 合 計		134,624	100.0	128,793	100.0	△ 5,831		124,284	100.0

(14) 四半期個別貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	期 別		前第3四半期 会計期間末 (平成19年12月31日)		当第3四半期 会計期間末 (平成20年12月31日)		増 減		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	金 額	金 額	金 額	構 成 比	
(負債の部)										
I 流 動 負 債 合 計										
支払手形債	561		423		△ 138	503				
買掛金	16,667		13,273		△ 3,393	13,101				
短期借入金	600		5,950		5,350	750				
一年内返済予定の長期借入金	2,000		2,000		—	2,000				
未払金	8,768		7,128		△ 1,639	9,247				
未払費用	371		356		△ 15	416				
未払法人税等	2,041		1,347		△ 694	—				
未払消費税等	421		129		△ 292	163				
預り金	392		325		△ 67	101				
前受収益	3		3		—	6				
賞与引当金	884		429		△ 454	1,637				
役員賞与引当金	54		—		△ 54	73				
設備関係支払手形	489		19		△ 469	50				
デリバティブ債	—		3,030		3,030	15				
その他	965		709		△ 255	560				
流動負債合計	34,222	25.4	35,127	27.2	904	28,627	23.0			
II 固 定 負 債 合 計										
長期借入金	6,000		4,000		△ 2,000	5,000				
退職給付引当金	1,744		1,701		△ 43	1,490				
受入敷金	362		342		△ 19	356				
その他	869		976		107	997				
固定負債合計	8,976	6.7	7,020	5.5	△ 1,955	7,844	6.3			
負債合計	43,199	32.1	42,147	32.7	△ 1,051	36,471	29.3			
(純資産の部)										
I 株 主 資 本 合 計										
資本金	19,985	14.8	19,985	15.6	—	19,985	16.1			
資本剰余金	23,733	17.6	23,733	18.4	—	23,733	19.1			
資本準備金	23,733		23,733		—	23,733				
利益剰余金	43,857	32.6	44,771	34.8	913	43,264	34.8			
利益準備金	1,193		1,193		—	1,193				
その他利益準備金	42,664		43,578		913	42,071				
特別償却準備金	66		29		△ 36	29				
固定資産圧縮積立金	855		906		51	906				
固定資産圧縮特別勘定積立金	12		—		△ 12	—				
株式消却積立金	3,256		3,256		—	3,256				
トマト翁記念基金	50		50		—	50				
退職給与積立金	175		175		—	175				
配当準備積立金	330		330		—	330				
別途積立金	29,310		32,810		3,500	29,310				
繰越利益剰余金	8,608		6,020		△ 2,588	8,013				
自己株式	△ 40	△ 0.0	△ 67	△ 0.1	△ 26	△ 42	△ 0.0			
株主資本合計	87,535	65.0	88,423	68.7	887	86,940	70.0			
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等										
その他有価証券評価差額金	1,394	1.0	31	0.0	△ 1,362	881	0.7			
繰延ヘッジ損益	2,495	1.9	△ 1,809	△ 1.4	△ 4,304	△ 9	△ 0.0			
評価・換算差額等合計	3,889	2.9	△ 1,777	△ 1.4	△ 5,667	871	0.7			
純 資 産 合 計	91,425	67.9	86,645	67.3	△ 4,779	87,812	70.7			
負 債 純 資 産 合 計	134,624	100.0	128,793	100.0	△ 5,831	124,284	100.0			

(注) 前事業年度末に係る要約貸借対照表及び前第3四半期会計期間末四半期個別貸借対照表は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

(15) 四半期個別損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前第3四半期 累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)		当第3四半期 累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)		増 減		前事業年度の 損益計算書 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売 上 高	146,149	100.0	124,014	100.0	△ 22,135	△ 15.1	183,014	100.0
II 売 上 原 価	75,508	51.7	63,761	51.4	△ 11,746		95,542	52.2
売 上 総 利 益	70,641	48.3	60,252	48.6	△ 10,388	△ 14.7	87,472	47.8
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	61,038	41.7	54,644	44.1	△ 6,394		78,644	43.0
営 業 利 益	9,603	6.6	5,608	4.5	△ 3,994	△ 41.6	8,827	4.8
IV 営 業 外 収 益								
受 取 利 息	143		175		31		207	
有 価 証 券 利 息	74		28		△ 45		88	
受 取 配 当 金	232		264		31		300	
賃 貸 収 入	151		152		0		203	
雑 収 入	212		308		95		271	
営 業 外 収 益 合 計	814	0.5	928	0.7	114		1,071	0.6
V 営 業 外 費 用								
支 払 利 息	138		113		△ 25		180	
休 止 固 定 資 産 減 価 償 却 費	—		157		157		—	
賃 貸 原 価	77		80		2		102	
為 替 差 損	2		51		48		20	
雑 支 出	71		104		32		126	
営 業 外 費 用 合 計	289	0.2	505	0.3	216		430	0.2
経 常 利 益	10,128	6.9	6,031	4.9	△ 4,096	△ 40.4	9,469	5.2
VI 特 別 利 益								
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	—		1		1		—	
固 定 資 産 売 却 益	155		0		△ 155		156	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	0		0		△ 0		0	
特 別 利 益 合 計	156	0.1	1	0.0	△ 155		157	0.1
VII 特 別 損 失								
固 定 資 産 処 分 損	179		710		531		526	
リ ー ス 会 計 基 準 適 用 に 伴 う 影 響 額	—		87		87		—	
ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	0		4		4		1	
投 資 有 価 証 券 評 価 損	3		—		△ 3		3	
特 別 損 失 合 計	183	0.1	802	0.7	619		530	0.3
税 引 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	10,101	6.9	5,230	4.2	△ 4,871	△ 48.2	9,095	5.0
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	4,029		2,415		△ 1,614		1,412	
法 人 税 等 調 整 額	0		△ 185		△ 185		2,204	
法 人 税 等 合 計	4,029	2.7	2,229	1.8	△ 1,799		3,616	2.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益	6,071	4.2	3,000	2.4	△ 3,071	△ 50.6	5,478	3.0

(注) 前事業年度の損益計算書及び前第3四半期累計期間四半期個別損益計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

なおこの組替えにより、前事業年度の売上総利益は1,372百万円減少し、営業利益が1,045百万円減少しておりますが、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。また、この組替えにより前第3四半期累計期間の売上総利益は1,071百万円減少し、営業利益が845百万円減少しておりますが、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響はありません。

(12月31日に終了した3ヶ月間)

(単位：百万円、%)

科 目	期 別	前第3四半期 会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)		当第3四半期 会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)		増 減	
		金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率
I 売 上 高		43,957	100.0	35,052	100.0	△ 8,905	△ 20.3
II 売 上 原 価		22,864	52.0	18,091	51.6	△ 4,772	
売 上 総 利 益		21,093	48.0	16,960	48.4	△ 4,132	△ 19.6
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		18,189	41.4	14,475	41.3	△ 3,714	
営 業 利 益		2,903	6.6	2,485	7.1	△ 417	△ 14.4
IV 営 業 外 収 益							
受 取 利 息		50		55		5	
有 価 証 券 利 息		24		9		△ 15	
受 取 配 当 金		63		58		△ 4	
賃 貸 収 入		50		51		1	
雑 収 入		53		43		△ 10	
営 業 外 収 益 合 計		241	0.5	218	0.6	△ 23	
V 営 業 外 費 用							
支 払 利 息		40		34		△ 6	
休 止 固 定 資 産 減 価 償 却 費		—		52		52	
賃 貸 原 価		28		24		△ 4	
為 替 差 損		0		47		47	
雑 支 出		32		61		29	
営 業 外 費 用 合 計		101	0.2	220	0.6	118	
経 常 利 益		3,043	6.9	2,484	7.1	△ 559	△ 18.4
VI 特 別 利 益							
貸 倒 引 当 金 戻 入 額		—		1		1	
固 定 資 産 売 却 益		2		—		△ 2	
投 資 有 価 証 券 売 却 益		0		0		△ 0	
特 別 利 益 合 計		3	0.1	1	0.0	△ 2	
VII 特 別 損 失							
固 定 資 産 処 分 損		22		696		674	
特 別 損 失 合 計		22	0.1	696	2.0	674	
税 引 前 四 半 期 純 利 益		3,025	6.9	1,788	5.1	△ 1,236	△ 40.9
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		1,514		700		△ 813	
法 人 税 等 調 整 額		△ 311		—		311	
法 人 税 等 合 計		1,202	2.8	700	2.0	△ 502	
四 半 期 純 利 益		1,822	4.1	1,087	3.1	△ 734	△ 40.3

(注) 前第3四半期会計期間四半期個別損益計算書は、当期の会計基準に組替えて表示しております。

平成21年1月20日

各 位

上場会社名 カゴメ株式会社
 代表者 代表取締役社長 喜岡 浩二
 (コード番号 2811)
 問合せ先責任者 執行役員財務部長 長井 進
 (TEL 03-5623-8501)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年7月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	190,000	7,200	7,000	2,800	28.12
今回発表予想(B)	180,000	4,800	4,500	1,600	16.07
増減額(B-A)	△10,000	△2,400	△2,500	△1,200	――
増減率(%)	△5.3	△33.3	△35.7	△42.9	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	200,483	9,852	8,366	4,167	41.85

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	173,200	8,100	8,800	5,100	51.21
今回発表予想(B)	160,000	6,000	6,500	2,100	21.09
増減額(B-A)	△13,200	△2,100	△2,300	△3,000	――
増減率(%)	△7.6	△25.9	△26.1	△58.8	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	183,014	9,873	9,469	5,478	55.02

修正の理由

世界的な金融不安に端を発した景気後退の波は、消費市場にも大きな影響を与えております。食に関する消費行動に関しては、外食から内食へ、その需要が大きくシフトしており、これは調味料など一部商品の売上増につながっております。

一方、消費の低価格指向も鮮明となっており、当社主力商品の野菜飲料においては、原材料コストの高騰に対する出荷価格の改定(値上げ)等と相まって、大幅な売上減となっております。

これらを受け、全ての費用の徹底した見直しは無論のこと、第4四半期には、調味料の一層の拡販とともに、野菜飲料にて大型の新商品を投入するなど、売上・利益の挽回を目論みますが、短期的な景気回復は見込むことができず、業績の下方修正は避けられない見通しです。

これにともない、役員賞与の支給を取りやめ、役員報酬(取締役・執行役員)につきましても第4四半期分を減額いたします。

個別につきましては、当社100%子会社であるカゴメラジオ株式会社(愛知県、小牧市)について、本第4四半期にて当社が保有する同社株式を22億円評価減する予定です。また、当社は、チルド事業の一層の拡大および経営効率の向上等を図るため、平成21年3月1日にて、同社を吸収合併することを決定いたしました。この評価減につきましては、連結業績には影響いたしません。

第3四半期の結果及び上述の計画に基づき、今期の業績予想を修正いたします。

なお、配当金につきましては、今回の業績予想の修正による変更はなく、1株につき年間15円を据え置く予定であります。株主優待制度につきましても変更はございません。

(注)上記の業績等は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により、業績予想とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

以 上



平成 21 年 1 月 20 日

各 位

会社名 カゴメ株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜岡 浩二
(コード番号 2811 東証・名証第 1 部)
問合せ先 執行役員財務部長 長井 進
(TEL. 03 - 5623 - 8501)

子会社カゴメラビオ株式会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）に関するお知らせ

カゴメ株式会社（本社：愛知県名古屋市 社長：喜岡 浩二）は、平成 21 年 3 月 1 日をもちまして、下記のとおりカゴメラビオ株式会社を吸収合併することを決定し、同社と合併契約書を締結しましたので、お知らせいたします。

なお、100%子会社の簡易吸収合併のため、開示事項・内容の一部を省略して開示しています。

記

1. 合併の目的

カゴメラビオ株式会社は当社の 100%子会社で主に当社のチルド温度帯商品の生産・物流を受託しております。グループのチルド事業拡大に向けて、チルド温度帯商品の生産・物流・販売の一体的運営体制の確立により、経営スピードの向上と顧客満足度の更なる増大を図ることを目的として、カゴメラビオ株式会社を吸収合併することといたしました。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併決議取締役会	平成 21 年 1 月 20 日（火）
合併契約締結	平成 21 年 1 月 20 日（火）
合併の予定日（効力発生日）	平成 21 年 3 月 1 日（日）（予定）

※本合併は、当社においては会社法第 796 条第 3 項に規定する簡易合併であり、カゴメラビオ株式会社においては会社法第 784 条第 1 項に規定する略式合併であるため、それぞれ合併契約承認株主総会はいたしません。

(2) 合併方式

カゴメ株式会社を存続会社とする吸収合併方式で、カゴメラビオ株式会社は解散します。

(3) 消滅会社の新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

カゴメラビオ株式会社は新株予約権および新株予約権付社債を発行しておりません。

3. 合併当事会社の概要

	(平成20年3月31日現在)	(平成20年2月29日現在)
(1) 商号	カゴメ株式会社	カゴメラビオ株式会社
(2) 事業内容	食品製造販売業	食品製造販売業
(3) 設立年月	昭和24年	昭和35年
(4) 本社所在地	愛知県名古屋市中区錦3-14-15	愛知県小牧市小木東3-45
(5) 代表者	代表取締役社長 喜岡浩二	代表取締役社長 三輪克行
(6) 資本金	19,985百万円	98百万円
(7) 発行済株式数	99,616,944株	280,000株
(8) 純資産	87,812百万円	706百万円
(9) 総資産	123,051百万円	11,724百万円
(10) 決算期	3月31日	2月末日
(11) 大株主及び持株比率	アサヒビール株式会社 10.03%	カゴメ株式会社 100%

4. 合併後のカゴメの状況

(1) 商号、事業内容、本店所在地、代表者、資本金、決算期の変更はありません。

(2) 業績に与える影響

100%子会社を吸収合併するものであり、当社への連結業績への影響はありません。

また、吸収合併による当社個別業績への影響は軽微であります。

以上

当資料お取扱い上の注意点

当資料はカゴメの現在の計画、見通し、戦略などのうち歴史的
事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたカゴメの
経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見
通しのみには全面的な依拠することは控えるようお願い致しま
す。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績
見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきくだ
さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、以下のよ
うなものが含まれます。すなわち、 天候、特に夏場の低温
異物混入等の製品事故 カゴメの事業領域を取り巻く経済情
勢、特に消費動向 変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激
しい競争にさらされた市場の中で、顧客に受け入れられる製品
やサービスをカゴメが企画・開発し続けていく能力、などで
す。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるも
のではありません。また当資料は、あくまでカゴメをより深く
理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めす
るためのものではありません。さらに当資料に記載されている
市場などのデータ等におきましても、当社が信頼に足りかつ正
確であると判断した情報に基づき作成しておりますが、将来の
予測のみならず過去の部分も含めて、見直し等により予告なし
に変更することがありますので注意ください。